

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	つどいの広場管理運営事業		事業コード	2116
担当課等	所属名	保健福祉部 児童福祉課	担当係名	
	課長名	石塚 千英司	担当者名	菊池 悠貴
			電話番号	2566

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	みんなで支える子育て支援の展開	コード 6
	基本事業	育児不安の軽減	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 3款 2項 1目 つどいの広場管理運営事業 (017-03)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度      ⇒ (開始年度 18年度～)					
事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て中の親を対象にして、子育てや育児について気軽に相談できる相手や仲間が集う場所を提供して、子育てに対する不安や負担の解消を図る。また、子育て支援に関する情報の提供や講習等を行い子育て支援機能の充実を図る。併せて、天候等によらず、いつでも気軽に利用できる子どもの遊び場としての機能も有する。</li> <li>施設を中心市街地に設置することにより商店街組合などと連携したイベントを実施することにより、その活性化につなげる。</li> </ul>					
根拠法令等	(国)次世代育成支援対策交付金交付要綱 (市)盛岡市つどいの広場事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
<p>平成16年度に盛岡市次世代育成支援対策推進行動を策定する際に実施した次世代育成支援に関するニーズ調査の結果、「子育てに不安感や負担感を感じる」と回答した保護者の割合が高かったことや近年の核家族化の進行に伴い、近隣との人間関係の希薄化により子育てについて相談できる相手がいないことなどにより、子育て中の親が孤立化し児童虐待にもつながる可能性があることなどから、同様の環境下にある子育て中の保護者が気軽に集い仲間づくりをしたり、子育てについて相談できる場所を創設して、これらの問題解決につなげるための子育て支援事業として、平成18年度から次世代育成支援事務局が先導して事業を開始した。(平成18年7月23日に開設)。</p>						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者からは「一人で孤独だったが、つどいの広場に来て良かった」など、これまでに無かった新しい子育て支援施設として概ね良好な意見が多く寄せられている。</li> <li>議会からも事業の有効性を評価していただいております。今後の増設等事業計画についても質問があった。</li> <li>次世代育成支援対策行動計画の策定にあたって実施した「ニーズ調査」によると、施設を知らない割合が高く、さらに周知を図る必要がある。</li> </ul>						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか変化したか。今後の見通しはどうか						
<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化とともに核家族化や人間関係の希薄化も進行しており、子育てに悩まない環境づくりを進めるうえで、今後も事業ニーズは継続していくものと考えられる。</li> <li>「つどいの広場」=「ひろば型としての地域の子育て支援拠点」としての機能の拡充を図るため、H21年度から国の事業実施要綱に「機能充実型」として、ひろばの開設場所を活用した(1)一時預かり事業 (2)放課後児童健全育成事業(3)乳幼児家庭全戸訪問事業又は養育支援訪問事業(4)市町村独自に補助又は委託を行っている子育て支援事業のうち、市町村がひろば型の活用の充実に資すると認めた事業のいずれかを実施した場合、国庫補助基準額が増額されることになった。</li> <li>機能充実型として指定している事業は、いずれも国が事業の実施を推進しているものであり、これまでの「集う場所」としての機能のほか、関係機関との連携の強化や利用者である子育て親子を対象とした関連事業を実施する複合型の施設として発展させていく必要があると思われる。</li> <li>平成22年度から地域子育て支援拠点事業が次世代育成支援対策交付金の対象事業となった。</li> </ul>						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	主に3歳未満の乳幼児とその保護者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 利用者の組数(保護者と子どもを1組)	単位	組
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) NPO法人に事業を委託して実施。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) NPO法人に事業を委託して継続実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 事業実施か所数	単位	か所
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・子育てに対する不安や負担感を軽減する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 利用者(保護者)の利用目的のうち、「子育て中の方との仲間づくりや交流のため」と回答した割合 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				B. 利用者(保護者)の利用目的のうち、「子どもの遊び場として利用するため」と回答した割合 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	%
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	子育てに悩まない	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「子育てに悩んでいる・不安を持っている」と答えた子どものいる親の割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	利用者の組数(保護者と子どもを1組)	組	4,195	5,325	9,000	7,901	8,000	9,000	26年度 10,000
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	事業実施か所数	か所	1	1	2	2	2	2	26年度 2
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	利用者(保護者)の利用目的のうち、「子育て中の方との仲間づくりや交流のため」と回答した割合	%	19.4	21.6	24	17.9	24	26	26年度 30
成果 指標B	利用者(保護者)の利用目的のうち、「子どもの遊び場として利用するため」と回答した割合	%	50.5	48.4	50	47.1	50	50	26年度 50
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	9,637	9,652	23,791	21,743	18,590	18,590	*****
財源 内訳	④国	千円	1,867	1,867	10,517	11,898	5,600	5,600	*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	7,770	7,785	13,274	9,845	12,990	12,990	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④~⑧) (=A)	千円	9,637	9,652	23,791	21,743	18,590	18,590	*****
	延べ業務時間数	時間	240	350	400	400	350	350	*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	960	1,400	1,600	1,600	1,400	1,400	*****
	トータルコスト (A)+(B)	千円	10,597	11,052	25,391	23,343	19,990	19,990	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 利用者アンケートの結果からも、事務事業の意図は結果に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 次世代育成支援対策推進法に基づく子育て支援事業であり、市がやるべき事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでもいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 主に3歳未満の乳幼児とその保護者を対象とした事業であることから、現状のまま妥当である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由: 利用者からのアンケートや感想などから、事業目的と合致した成果が上がっているものと判断でき、現状で妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 事業の認知度をさらに上げるように周知を図り、多くの人に活用されるようにする。利用者の要望を的確に把握し、その時々求められる子育て支援を事業内容に取り入れることにより成果が向上するものと考えられる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 子育て支援事業として市民の利用も定着し、利用者数が増加してきていることから、事業を廃止または休止できない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名: 地域子育て支援センター事業 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由: 子育て支援を行う施設は身近にあり、そしていつでも気軽に利用できることが望ましく、施策の充実を図る観点から統廃合は考えられない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最小限度の事業費において事業を実施していることから、成果を下げずに事業費を削減することはできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 最小限度の人件費で事業を実施していることから、成果を下げずに人件費を削減することはできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 国においても、主に3歳未満の乳幼児とその保護者を対象とした事業であり、実際の利用者もそれに合致していることから、受益機会は公平であると考えられる。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 行事参加者への材料代の実費負担等について、適正な負担を検討する余地がある。

#### 4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など)          ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること          「一時預かり」などの実施により、利用者の利便性の向上を図り、利用しやすく便利で身近な施設として事業内容を拡充していく必要がある。</p> <p>②改革, 改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか? それをどう克服していきますか?          (関連部門や全庁的な調整の必要性, トップへの要望も含む)          ・「一時預かり」事業の新規開始に伴う予算の確保が必要であるが、国の交付金の活用により、一般財源の増額を最小限とする予算の組み立てを行うこととする。・類似事業である「地域子育て支援センター事業」とも連携して、施設の機能を充実させる必要がある。</p>
---------	---

#### 5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <p>① 必要性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>② 有効性 : ○ 妥当 ● 見直し余地あり</p> <p>③ 効率性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p> <p>④ 公平性 : ● 妥当 ○ 見直し余地あり</p>	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>河南地区への増設により利用者は増えている。リピーターも多いが、さらなる周知も必要である。</p>					
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="3"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)  <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う  <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携             </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携					
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止						
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>地域子育て支援センターとの連携や事業内容の拡充により、機能を充実させながら子育て支援を図っていく。</p>							